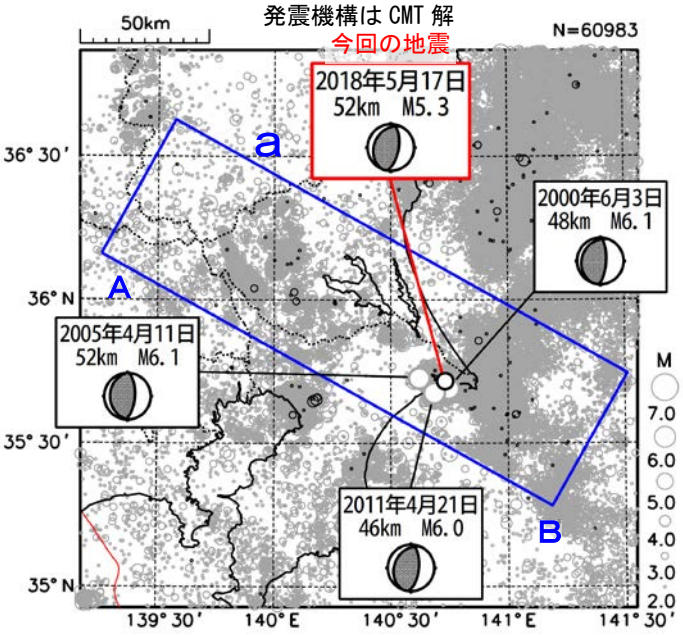
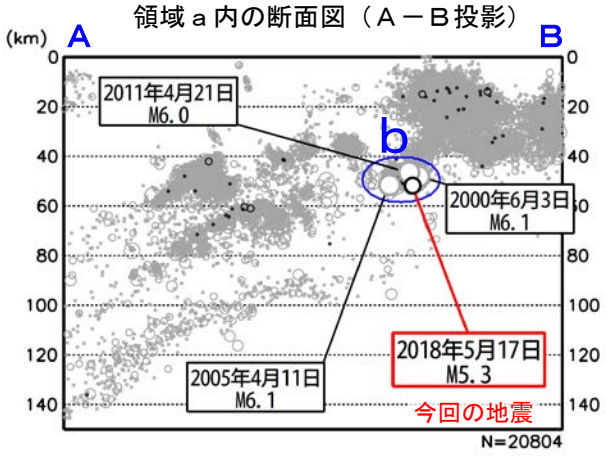
５月 17 日　千葉県北東部の地震

※情報発表に用いた震央地名は〔千葉県東方沖〕である。

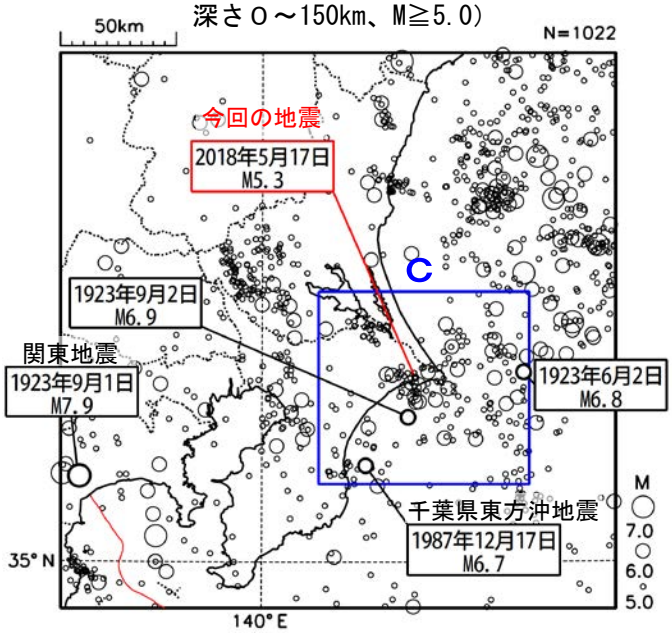
震央分布図
（1997 年 10 月 1 日～2018 年５月 31 日、
深さ０～150km、M≧2.0）
2018 年５月以降の地震を濃く表示
発震機構は CMT 解



領域ａ内の断面図（Ａ－Ｂ投影）



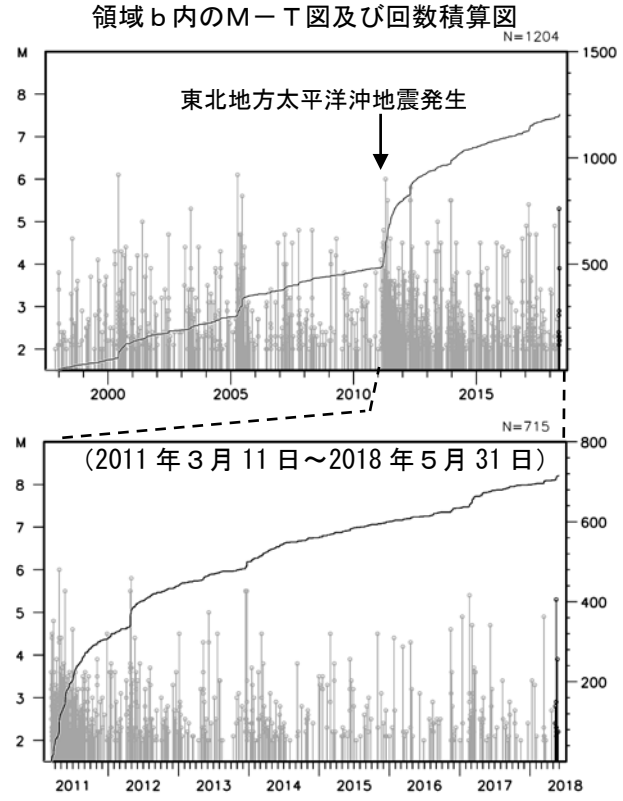
震央分布図
（1923 年１月１日～2018 年５月 31 日、
深さ０～150km、M≧5.0）

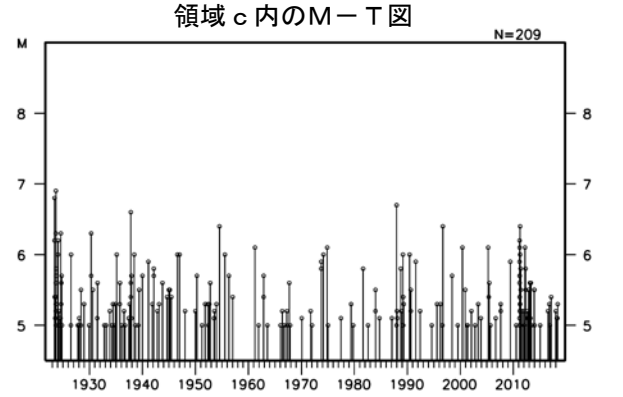


2018 年５月 17 日 12 時 12 分に千葉県北東部の深さ 52km で M5.3 の地震（最大震度４）が発生した。この地震は発震機構（CMT 解）が西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートとフィリピン海プレートの境界で発生した。

1997 年 10 月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域ｂ）は、Ｍ６程度の地震が時々発生している。東北地方太平洋沖地震の発生以降、地震活動がより活発になっている。

領域ｂ内のＭ－Ｔ図及び回数積算図



1923 年１月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域ｃ）では、Ｍ６程度の地震が時々発生している。1987 年 12 月 17 日にフィリピン海プレート内部で発生した千葉県東方沖地震（M6.7、最大震度５）では、死者２人、負傷者 161 人、住家全壊 16 棟、住家半壊 102 棟、住家一部破損 72,580 棟などの被害が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。

領域ｃ内のＭ－Ｔ図